

SICAS 統計の2003年第3四半期（7-9月）の数値公表

SICAS 統計（世界半導体生産キャパシティ統計）の2003年第3四半期（7-9月）の数値がまとまったので公表いたします。別添の資料に、今四半期の数値、前期比伸長率および前年同期比伸長率を、生産能力と実投入数のすべての数値について記載し、合わせて生産稼働率（%）も記載してありますので、詳細はそちらを参照してください。

SICAS は1995年2月24日に発足し、世界の5業界団体（EECA、JEITA、KSIA、SIA、TSIA）の支援の下に、現在世界の主要半導体(IC)メーカー約45社が会員として参加しています。

- ・ EECA : European Electronic Component Manufacturers Association (欧州電子部品工業会)
- ・ JEITA : Japan Electronics & Information Technology Industries Association (電子情報技術産業協会)
- ・ KSIA : Korea Semiconductor Industry Association (韓国半導体産業協会)
- ・ SIA : Semiconductor Industry Association (of the US) (米国半導体工業会)
- ・ TSIA : Taiwan Semiconductor Industry Association (台湾半導体産業協会)

SICAS に参加している IC メーカーは、年4回、四半期毎に、その IC 生産能力と実投入数を地域別に委託した第三者のデータ集計機関に提出し、そこで集計された数値は最後に中央集計機関によりまとめられ、世界計の集計データとなり発表されます。

データの秘密保持のため、会員を含むいかなる関係者（データ集計機関を除く）も、公表される「世界計のデータ」以外を知り得ない仕組みとなっています。

参加会員は、各々自社の世界全体の生産能力と実投入数を連結ベースで把握し報告しますが、他の IC メーカーに生産委託している部分は含みません。生産能力・実投入数のいずれもウェハ枚数を単位とし、集計期間内の総数を週当たりの平均値に換算し「千枚/週」の単位で報告します。報告方法は以下のとおりです。

MOS IC は、加工精度により 0.7 ミクロン以上、0.4 ミクロン以上 0.7 ミクロン未満、0.3 ミクロン以上 0.4 ミクロン未満、0.2 ミクロン以上 0.3 ミクロン未満、0.16 ミクロン以上 0.2 ミクロン未満、0.16 ミクロン未満に分けて 8 インチウェハの枚数に換算、バイポーラ IC は加工精度の分類はなく、5 インチウェハの枚数に換算。また MOS IC 生産能力のうち 8 インチウェハの生産能力および実投入数のデータも併せて集計。また生産能力については、1年=52週、1週=7日、1日=24時間の稼働を前提とします。なお、2002年第1四半期から、全体の内数としての MOS ファンドリー生産能力とその実投入数の切り出しが行われるようになり、SICAS 統計加盟会社 44社のうち5社がファンドリー統計に参加しています。

SICAS への参加は任意であり、いかなる IC メーカー（5つの支援業界団体のどれにも属さないメーカーも含む）に対してもオープンです。四半期毎に公表される SICAS 統計は、参加会員だけでなく誰にでも入手可能であり、前述の5業界団体から入手できます。

SICAS の運営組織は会員から選出された代表者で構成されており、現在、事務局はオランダに設置されています。

SICAS 統計は、世界の IC 生産能力とその稼働実績に関する信頼に足る情報をタイムリーに提供するものであり、このような情報は、IC 製造設備の急速な技術革新や IC 技術の各世代毎に必要な設備投資額が肥大化していることなどを考えると、半導体及び関連産業にとって有用な参考情報であると考えられます。

なお、日本地域の運営組織として、SICAS Japan が 95 年 1 月に設立されております。

問い合わせ先：SICAS-JAPAN

事務局長 和泉 正

TEL/FAX: 045-832-7762 e-mail <t-izumi@c3-net.ne.jp>